

4. 奈良公園基本戦略の基本方針

○ 目的

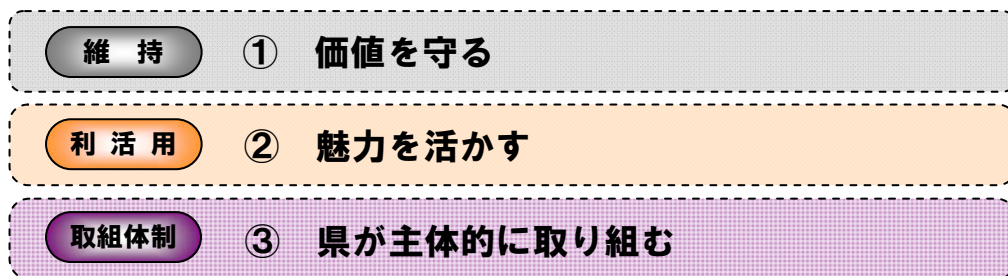
一人でも多くの方に奈良公園へ訪れてもらうため、奈良公園の抱える課題を解決し、奈良公園を名実ともに「世界に誇れる公園」にしていくことを目指すものとして、基本的な考え方や今後の方向性、重点的な取組を整理する。

○ 基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の魅力を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針を実現するために、以下の3つの柱により重点的な取組を展開する。

基本方針の実現に向けた3つの柱



○ 施策実施の基本スタンス

本基本戦略で掲げる具体的な施策・事業は、各ゾーンの資源への影響について十分に検証を行い、できる限り影響を小さくして実施するものとする

○ 対象エリア

奈良公園周辺一帯

※JR奈良駅から東側で、南は高畑町と奈良町を含み、北側は東大寺転轄門(正倉院西側)付近まで

奈良公園基本戦略対象エリア

- | | |
|---|---|
| 【名勝奈良公園】
◆春日大社境内 (▲御壺山、○飛火野含む)
▽奈良国立博物館 構内、正倉院構内
○依水園
近鉄奈良駅
JR奈良駅
ならまち界隈 | 【奈良県立都市公園奈良公園】
▲春日山、花山、芳山
▲若草山
○猿池園地
○登大路園地
○浮雲園地
○春日野園地
○吉城園
▲地獄谷 国有林 |
|---|---|
- 名勝指定時町村 (水門町、高畑町、春日野町)



図 4-1 奈良公園基本戦略対象エリア

5. 目標

奈良公園に存在する資源を積極的に「維持」「利活用」し、奈良公園の抱える課題を解決することにより、奈良公園を名実ともに「世界に誇れる公園」にしていくことを目指す。

維持

①価値を守る

- ・春日山原始林の植生の適切な管理
- ・「奈良のシカ」の適切な保護育成と管理
- ・伝統的行催事の維持・継承
- ・吉城園主棟など県有建築物や公園施設の適切な維持管理

利活用

②魅力を活かす

- ・来訪者数の底上げ及び観光オフシーズンの解消
- ・伸び悩んでいる宿泊客数の底上げや既存の宿泊施設の稼働率向上、さらなる宿泊施設数の充実
- ・観光地としての来訪者への「サービス」の向上
- ・低未利用地や県有施設などの有効活用と適切な維持管理
- ・既存ストックを活用した魅力あるコンベンション機能の充実・強化
- ・安全安心な移動周遊環境の整備
- ・奈良公園全体の魅力を伝えるための情報発信・提供

取組体制

③県が主体的に取り組む

- ・奈良公園を垣根なく周遊するなど社寺等関係者とのさらなる連携の強化

6. 基本方針の実現に向けた重点的な取組

(1) 維持

① 自然資源の保存

◆ 天然記念物の維持・管理

○ 春日山原始林の再生

春日山原始林を荒廃から守り再生するため、(仮称)春日山原始林再生計画を策定し、特別天然記念物である春日山原始林の再生に努める。



写真 春日山原始林

○ 奈良のシカの適切な保護・育成

奈良公園に生息する天然記念物の「奈良のシカ」を適切に保護・育成する。

◆ 植生の維持・管理

○ 奈良公園の植栽計画の策定

樹木の生長による眺望の阻害等に対応するため、(仮称)奈良公園植栽計画を策定し、奈良公園周辺の植生を適切に維持・管理する。



写真 依水園・前園



写真 東大寺二月堂と背後の観音山

② 歴史・文化資源の保存

◆ 行催事の維持・継承

○ 奈良公園の行催事への支援

古都奈良の早春を告げる伝統的行事である若草山焼きなど伝統的行事の維持・継承のため、奈良公園で実施される行催事等を支援する。



写真 若草山焼き



写真 山焼き直前の大花火

③ 公園資源の保存

◆ 工作物・建築物の維持・管理

○ 吉城園主棟の改修

吉城園は、日本の美を濃縮したような庭園で、四季を通じて茶室での茶会、庭園散策に利用されている。今後は、吉城園主棟及び周辺施設を改修し、奈良の文化に触れる品格の高い空間づくりを行う。



写真 吉城園

○ 公園施設等の適切な維持管理

公園施設の管理水準の維持・向上に努め、再訪したいと思わせる快適な環境づくりを行う。

◆ 植生植栽の維持・管理

○ 植生植栽の適切な維持管理

植生植栽などの管理水準の維持・向上に努め、再訪したいと思わせる快適な環境づくりを行う。



写真 公園道の街路樹（松）



写真 水谷川沿いの植栽樹木



写真 茶山園地



写真 春日野園地

◆ 土地の買い入れによる資源への影響を抑制

○ 古都法に基づく土地の買い入れ

古都法第11条に基づく土地の買い入れを実施し、歴史的風土の保存に努め、資源への影響を抑制する。

◆ 建築や造成等における資源への影響を抑制

○ 文化財保護法、古都法等に基づく許認可

文化財保護法125条に基づく史跡名勝天然記念物の現状変更や古都法6条に基づく特別保存地区内の建築物の新築など各種法令による許認可により、奈良公園特有の風致景観に寄与するなど資源への影響を抑制する。

(2) 利活用

① 移動の円滑化

◆ 安全・安心な歩行環境整備

○ 歩道の整備

徒歩で周遊する来訪者に対して、プロムナード化など歩道整備を行い、安全・安心な歩行環境を創出する。

○ 管理事務所の移転

園路への車両の乗り入れを抑制するため、管理事務所の移転を行い、歩行者の安全性を確保する。

◆ 移動支援機能の導入

○ 周遊バスの導入

広範囲の公園内の移動を円滑にするため、周遊バスを本格導入する。

○ 若草山などへの移動支援機能の導入

高齢者へのバリアフリー対策の一環として、多くの方に若草山からの眺望を楽しんでもらうための若草山への移動支援施設の整備など、公園内に移動支援機能を導入する。

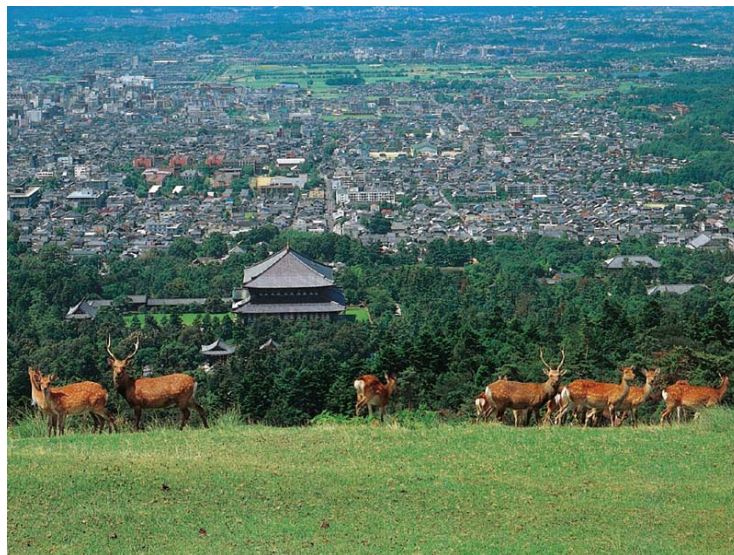


写真 若草山中腹部（一重目）からの眺望

◆ 公共交通機関の利用環境の向上

○ 登大路駐車場のバスターミナル化

県営登大路駐車場は、観光団体バスや周遊バスなどのバスターミナル化の検討を進め、公共交通機関の利用環境を向上させる。

○ 大仏前駐車場予約システムの活用

県営大仏前駐車場に導入した駐車場予約システムを活用し、利用者の需要を調整することにより、利便性を向上させる。

○ 行基広場屋根の整備

近鉄奈良駅前の行基広場に屋根を整備し、交通結節点の環境を改善する。

◆ マイカーの流入抑制

○ 公共交通の利用促進

観光交通による慢性的な渋滞の解消など来訪環境の向上に向けて、公共交通の利用を促進する。

○ パーク&バスライドの実施

観光交通による慢性的な渋滞の解消など来訪環境の向上に向けて、パーク&バスライドを実施し、公園内への流入を抑制する。

○ 公園内の流入抑制の推進

公園内道路の一方通行化など公園内への流入を抑制する。

◆ 動線を踏まえた適切な案内サイン整備

○ 案内サインの整備

広大な奈良公園内を迷うことなく周遊するため、統一したわかりやすい案内サインの整備を進める。

○ デジタルサイネージの整備

リアルタイムに情報の発信ができるデジタルサイネージ^{*9}の整備を進める。

^{*9} デジタルサイネージとは、映像表示装置とデジタル技術を用いた広告媒体であり、屋外・店頭・公共施設などに、液晶ディスプレイやプロジェクターを設置して広告や各種案内を表示するもの。従来のポスターや看板と異なり、通信ネットワークを利用することで、表示内容をリアルタイムで更新したり、複数の広告を配信したりすることができる。

■ 待機画面（紹介ムービー）からトップメニューの表示について



図 6-1 デジタルサイネージ（情報案内板）

② にぎわいづくり

◆ 多様な公園利用者をもてなす施設等の整備

○ 吉城園周辺地区の整備

吉城園は、日本の美を濃縮したような庭園で、観光者の入場が多く、四季を通じて茶室での茶会、庭園散策に利用されている。今後は、吉城園主棟及び周辺施設を改修し、奈良の文化に触れる品格の高い空間づくりを行う。



写真 吉城園



写真 みとりぬ池

○ 水辺空間の有効活用

水辺環境の改善や、ベンチなど休憩施設の充実により、水辺空間を有効に活用する。



写真 猿沢池



写真 鷺池

◆ 観光資源であるシカの適切な保護・育成のための施設整備

○ 飛火野周辺地区の整備

老朽化が著しいシカの管理施設である鹿苑を改修し、観光資源として活用するとともに、周辺環境の改善等を行う。



写真 鹿苑



写真 飛火野南端部の樹林地

◆ 立地環境にふさわしい低層の宿泊施設等の整備

○ 高畑町周辺地区の整備

鷺池・浮見堂を眺望できる高畑裁判所跡地に、奈良公園にふさわしい歴史と文化の香りが漂う上質の宿泊施設等の検討を行う。



写真 高畑町の街なみ

◆ 既存イベントの内容充実・改善

○ 奈良公園のあかりを用いた誘客イベント等の継続実施

奈良公園では、「なら燈花会」や「なら瑠璃絵」などあかりを用いた誘客イベントなども実施され、多くの来訪者が訪れている。今後もより多くの来訪者を迎え入れ、にぎわいを継続させるとともに、来訪者のニーズに応えるため、主催者と連携を図り、内容の充実や改善を行う。



写真 なら燈花会



写真 なら瑠璃絵

◆ 新たなイベントの企画と実施

○ 奈良公園の魅力を活かしたイベントの企画・実施

若草山にぎわいイベント、奈良らしい誘客イベント(なら音楽の祝祭)など、個々の性質や開催場所、開催時期を考慮し、奈良公園の魅力を活かした新たなイベントの企画と実施を行う。



写真 ならファンタジー



写真 若草山 MUSIC FESTIVAL

◆ イベント支援機能を有する施設整備

○ イベント支援施設の整備

各々のイベントの個々の性質や開催場所、開催時期を考慮したイベントを支援する施設を整備する。

③ コンベンションによる振興

◆ 魅力あるコンベンション機能の充実のための施設整備

○ 新公会堂周辺地区の整備

日本庭園を有する新公会堂は、日本の歴史や文化、自然を身近に体験できるコンベンション施設として、諸外国の参加者から高い評価を得ている。日本文化の発祥の地、日本最初の国際交流都市のさらなる発展に貢献するために、新公会堂とシルクロード交流館を一体化させて、国際会議場としての収容力を高めるなどコンベンション機能の充実、強化等を行う。



写真 奈良県新公会堂



写真 シルクロード交流館

④ 周遊環境の向上

◆ 来訪者に配慮したトイレの整備

○ トイレの整備

奈良公園の来訪者が公園内を気持ちよく周遊するために、誰もが利用可能で清潔感あふれるトイレを整備し、周遊環境を向上させる。

◆ 夜間の安全性の向上

○ 照明施設の整備

奈良公園ではあかりを使った行催事により多くの来訪者が訪れるから、これら来訪者の安全性の確保を図るため、照明施設の整備を行い、周遊環境を向上させる。

◆ 周遊を支援する休憩施設等の整備

○ 県庁舎周辺地区の整備

奈良公園へのゲートウェイとなる県庁舎等での飲食・物販機能などを強化させ、快適な周遊環境を向上させる。

⑤ 来訪者の満足度の向上

◆ 旅行商品等の企画・実施

○ 社寺と連携した滞在型観光商品の企画・実施

社寺と連携した滞在型観光商品の企画・実施を行い、来訪者の満足度を向上させる。

◆ 魅力的なおみやげの企画・実施

○ 鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のおみやげ企画・実施

鹿サポーターズクラブ等と連携した鹿のおみやげの企画及び販売促進を行い、来訪者の満足度を向上させる。

◆ 便益施設の充実

○ 飲食・物販施設の使用許可の見直し

観光地としての奈良公園の価値と魅力をさらに高めるために、空き店舗や更地などが、にぎわいの低下にならないよう、飲食・物販施設の使用許可の見直しに取り組む。

⑥ 情報発信と享受

◆ 奈良公園への来訪による魅力の享受と意識の向上

○ 修学旅行生の誘致

奈良公園への来訪により、奈良公園の魅力に触れてもらうため、修学旅行生を積極的に誘致する。

○ 奈良公園の解説の充実

奈良公園の解説の充実による魅力の享受と意識の向上に取り組む。

◆ 奈良公園の魅力の積極的な情報発信とその機会の増大

○ 情報発信・共有システムの構築

世界に誇れる奈良公園の価値を全国に伝え、より多くの来訪者を迎え入れるために、テレビやラジオなどのマスコミ、インターネット、雑誌など様々な媒体を活用した広報に積極的に取り組み、奈良公園の魅力をあますことなく全国に発信する。

○ 県外キャンペーンの実施

県外キャンペーンを実施し、奈良公園の魅力を全国に発信する。

(3) 取組体制

◆ 関係者の総力の結集

○ 社寺、民間・NPO、関係行政機関との連携

奈良公園周辺の社寺や奈良公園に携わる民間、NPO^{*10}、関係行政機関が一体となって施策を実施するため、関係者が連携し、総力を結集する。

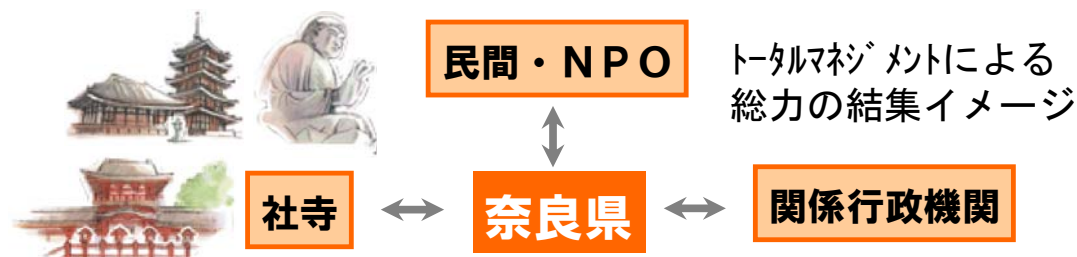


図 6-2 奈良県と関係者との連携イメージ

◆ 施策の推進

○ 県民や来訪者等への意見聴取

奈良公園における個別の計画策定については、必要に応じてパブリックコメント^{*11}や地元説明会、アンケート調査など県民や来訪者等への意見聴取を行う。

○ PDCAサイクルの確実な実施

施策の実施にあたっては、実施状況の評価と、それを踏まえた施策の改善が必要であるため、PDCAサイクル^{*12}を導入した施策のマネジメントが可能な仕組みづくりに取り組む。

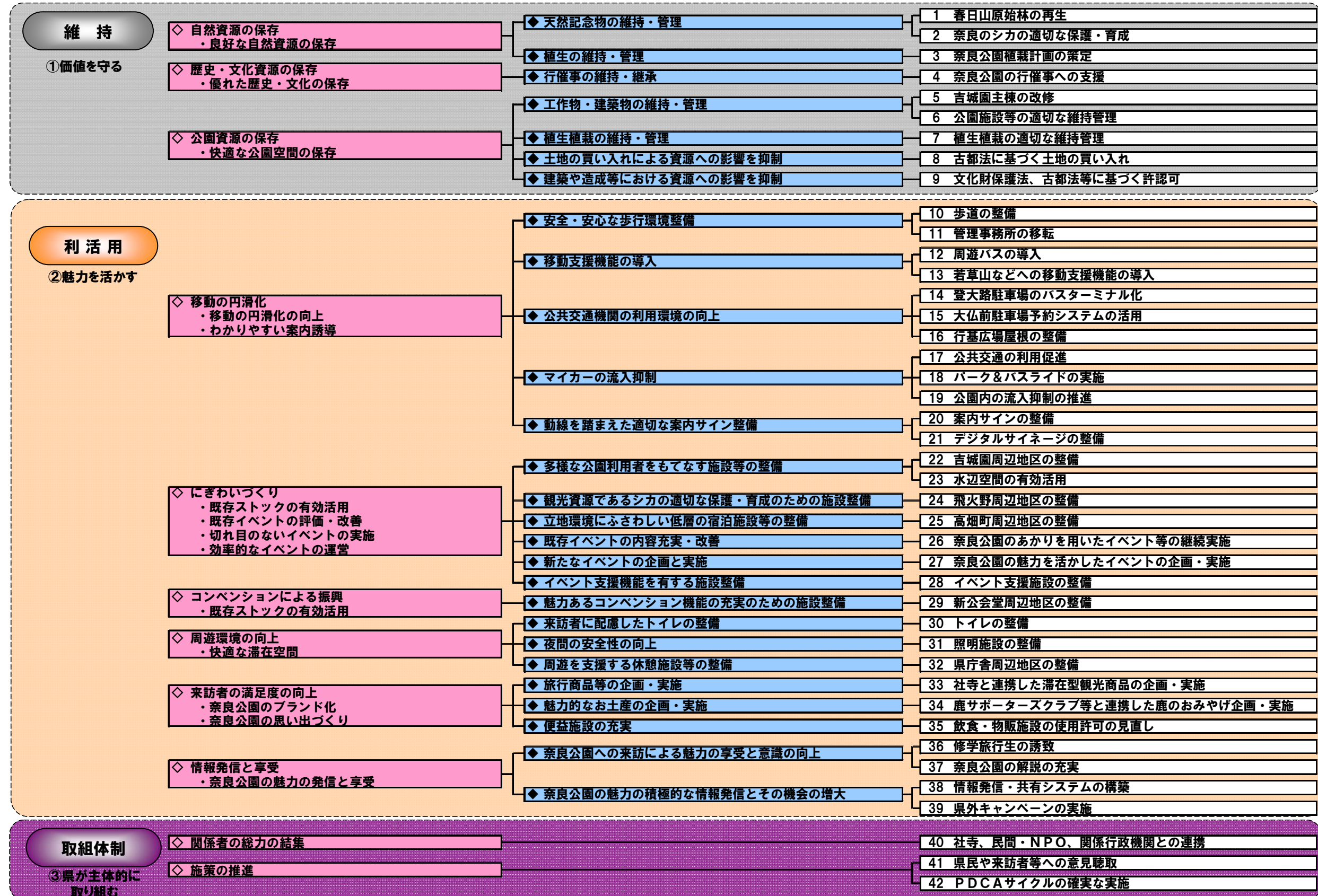
*10 NPOとは、民間非営利団体のことであり、政府や企業などではできない社会的な問題に非営利で取り組む。

*11 パブリックコメントとは、公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に意見・情報・改善案などを求める手続をいう。

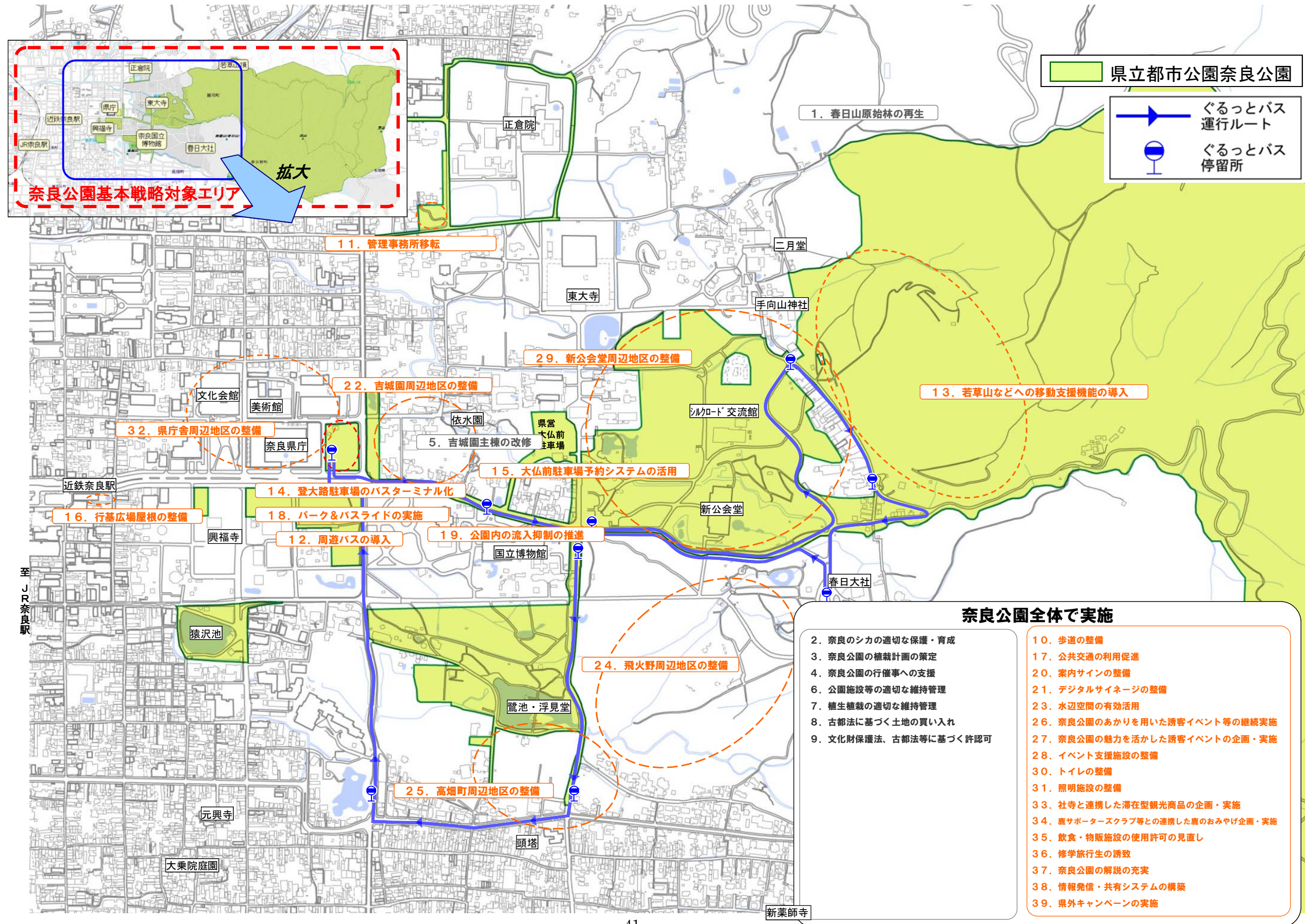
*12 PDCAサイクルとは、Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、導入した施策を継続的に実施・改善する取組をいう。

7. 奈良公園基本戦略における施策・事業の体系

(1) 体系図



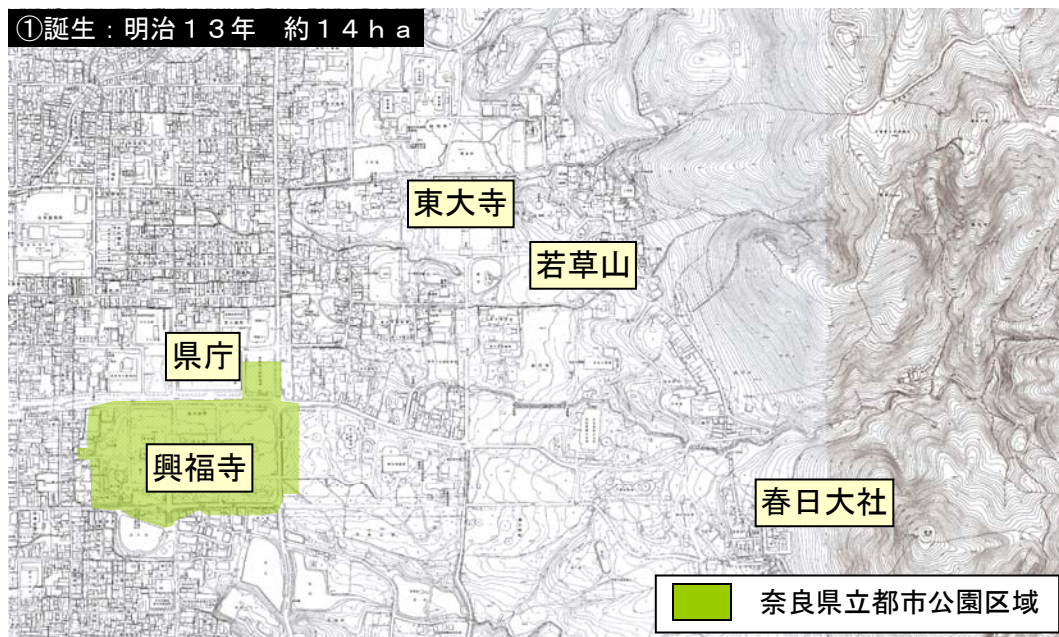
(2) 位置図



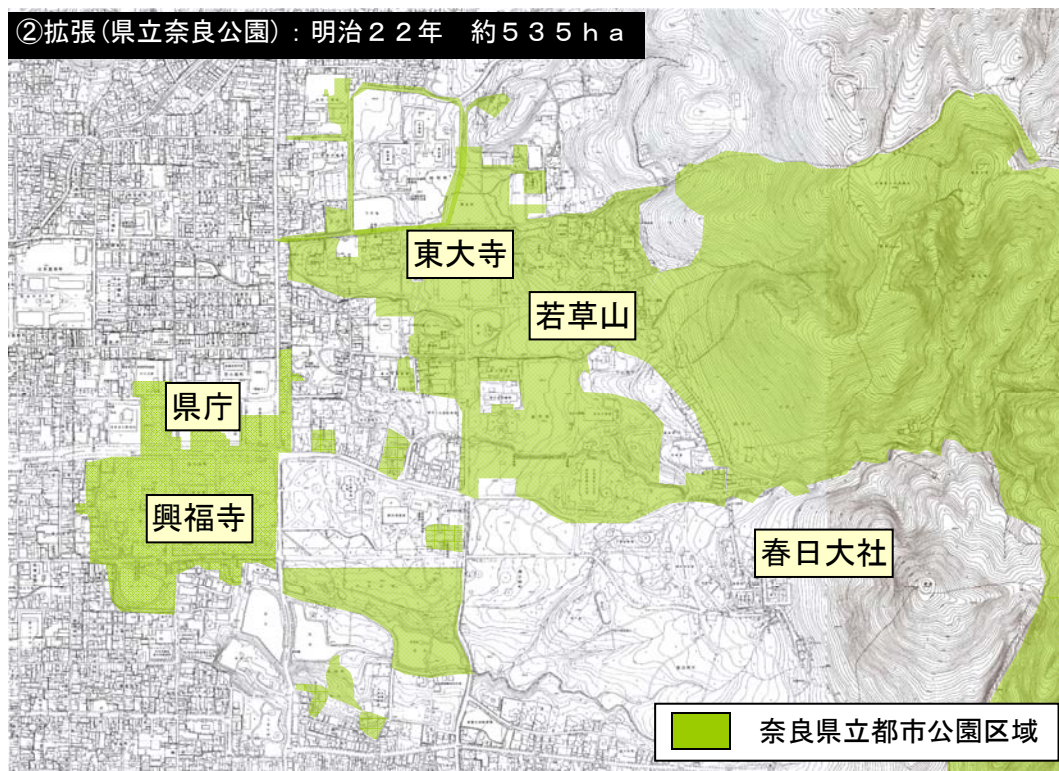
8. 参考資料

(1) 奈良公園の変遷

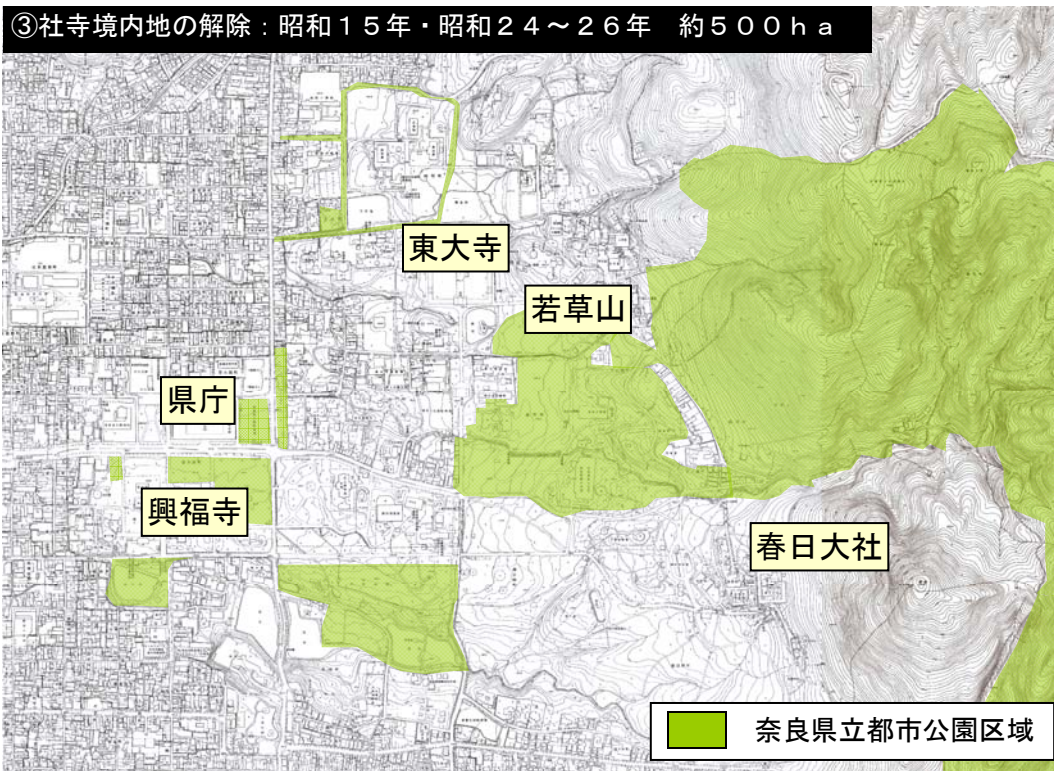
1873年(明治6年)の公園制定に係る「大政官布達」を受け、廃仏毀釈の後、1880年(明治13年)に官有地となっていた興福寺境内地を公園としたのが奈良公園のはじまりである。



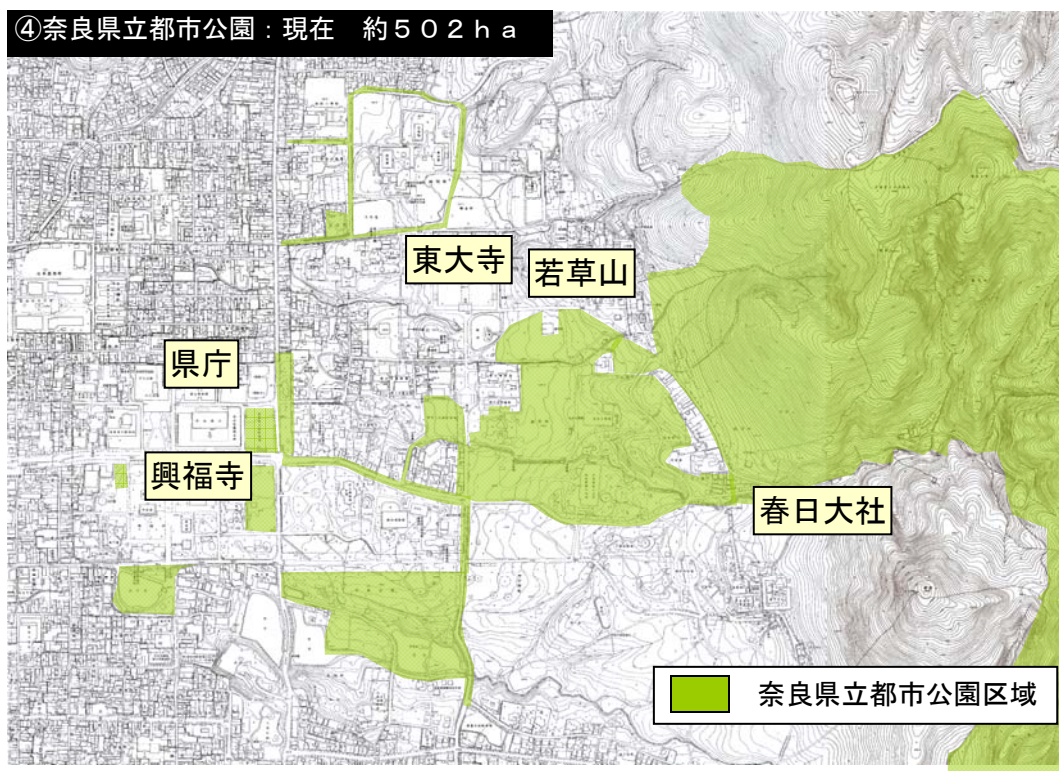
1887年(明治20年)の奈良県の再設置に伴い、奈良公園の拡張と整備に力が注がれ、1889年(明治22年)に平坦部や東大寺境内地や山野などを編入し、県立奈良公園として告示されたものである。



その後、社寺境内地についての法律が整備され、東大寺、興福寺等の社寺境内地の公園地解除、払い下げが行われる。



1956年（昭和31年）、都市公園法が施行され、1960年（昭和35年）に都市公園として告示され、1963年（昭和38年）に都市計画公園に位置づけられている。



このような背景から奈良公園と周辺社寺とは、一体不可分な関係といえる。

(2) これまでの取組

① 伝統行事やイベントの開催

奈良公園の歴史・文化・自然資源に配慮しつつ、奈良公園の良さを体感できるような様々な伝統行事やイベントを実施している。

【奈良公園で実施している主なイベント】



なら瑠璃絵



なら燈花会



ならファンタジア



若草山MUSIC FESTIVAL

【奈良公園で実施する主な伝統行事】



東大寺 二月堂の修二会



若草山焼き



春日大社 春日若宮おん祭り



興福寺 薪御能

出典：東大寺、興福寺、春日大社ホームページ等

② 公園施設の環境改善

奈良公園の歴史・文化・自然資源に配慮し、トイレや舗装など公園施設の老朽化について、環境の改善を実施している。



図 8-1 近年の公園施設の環境改善に関する取組

③ 移動周遊環境の改善

歴史・文化・自然資源に配慮するため、パーク&バスライドなどの移動環境の改善や、歩行環境の整備など周遊環境の改善を実施している。



図 8-2 近年の移動周遊環境の改善に関する取組

④ 情報発信・提供

奈良公園の歴史・文化・自然資源などの魅力を伝えるための情報の発信や提供を実施している。

○ホームページ



奈良公園の
魅力やみどころを
ホームページにて紹介

○近鉄奈良駅におけるデジタルサイネージ（情報案内板）による観光情報等の提供



- 県内の寺社行事やイベントの紹介、季節毎のおすすめ観光コースやバス運行情報を提供
- 〈特徴〉
- 1) バスを使った「なら旅」という新しい提案
 - 2) 行きたい名所・旧跡までの行き方ガイドを分かりやすく提供
 - 3) スマートフォン・携帯へ情報を持ち出す
 - 4) タッチ操作で欲しい情報に簡単アクセス



○平城遷都1300年祭時の新公会堂でのコンベンション

- 【東アジア未来会議 奈良2010】
- ・平城遷都1300年記念フォーラム
 - ・APEC観光大臣会合
 - ・世界宗教者(WCRP)平和会議40周年記念事業/世界宗教者まほろば大会
 - ・第12回世界歴史都市会議
 - …他多数

奈良公園、若草山など
自然に囲まれた場所に立地



「ERIA」リゾナルネットワークフォーラム
ウェルカムパーティー（新公会堂庭園）H22. 7. 7



新公会堂とシルクロード交流館結ぶ渡り廊下（H24. 2完成）